

あなたの看護職のキャリアを活かせます！

# 社会福祉施設で 働きませんか？



公益社団法人 福井県看護協会  
福井県ナースセンター



# 看護職の皆さまへ

社会福祉施設の中の特に老人福祉施設は、介護や支援を必要とする高齢者を対象として、施設介護や在宅での介護の支援を特徴とする福祉施設です。今回、社会福祉施設の情報と、その社会福祉施設で生き生きと働いている看護職の方からの具体的な業務内容や就業に向けてのメッセージを紹介します。

## 社会福祉施設(老人福祉施設)情報

自宅復帰のためのリハビリや  
医療ケアが中心

### 介護老人保健施設

介護を必要とする高齢者に対して介護サービスやリハビリを提供し、自宅復帰への支援を行う施設です。

- 入所条件 65歳以上で要介護認定1以上の認定、特定疾病による要介護認定を受けた方
- 人員体制 医師:入所者100人に対し1名以上常勤で在席  
看護職:入所者100人に対し3名  
介護職員:入所者100人に対し25名  
リハビリ専門員:入所者100人に対し1名以上配置
- 特 色 ・入所期間が短期(3~6ヵ月)  
・4床室が多い



多床室や10人程度のグループで  
介護や生活支援を行います

### 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)

介護サービスや生活支援を受けながら長く入所する施設です。安定した日常生活とそれを支援するための介護が優先的に行われます。

- 入所条件 在宅での生活が困難で要介護3以上の認定を受けた方
- 人員体制 医師:入所者に対し健康管理及び療養上の指導を行うために必要な数。  
介護職または看護職:入所者3人に対し常勤換算で1名
- 特 色 ・入所までに時間がかかる  
・長期入所が可能



医療的ケアに対応  
生活の場所を意識した施設

### 介護医療院

日常生活の身体介助や生活支援をはじめ、日常的な医学管理、看取りやターミナルケアを行います。

- 入所条件 I型介護医療院:介護療養病棟相当  
II型介護医療院:保健施設相当以上
- 人員体制 ・I型医師:入所者48人に対し1名  
看護職:入所者6人に対し1名  
介護職:入所者5人に対し1名  
・II型医師入所者100人に対し1名  
看護職:入所者6人に対し1名  
介護職:入所者6人に対し1名



主治医との連携のもと医療処置も  
含めた多様なサービス

### 看護小規模多機能型 居宅介護

医療依存度の高い人や退院直後で状態が不安定な人、在宅での看取り支援など、住み慣れた自宅での療養を支える介護保険サービスです。

- 利用者 要支援・要介護認定を受けている方
- 特 徴 主治医との連携のもと、医療処置も含めた多様なサービス(訪問看護、訪問介護、通い、泊り)を24時間365日提供。
- 人員体制 看護職:利用定員29人以下で常勤換算2.5名以上

昼間に日帰りで利用できる  
介護サービス

### 通所介護 デイサービス

要支援・介護状態となった場合において日常生活のケアやレクリエーション、機能訓練などを通所介護事務所で利用するサービスです。

- 利用者 要支援・要介護認定を受けている方
- 人員体制 介護職または看護職:1名以上



認知症の高齢者を対象に  
専門的なケアを提供するサービス

### 認知症対応型 共同生活介護

認知症の高齢者が少人数で可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、家庭的な環境と地域住民との交流のもとで、介護スタッフとともに共同生活を送ります。

- 利用者 認知症がある要支援2、要介護1~5の人で原則として事業所のある市町村の住民の方
- 人員体制 看護職または介護職員:1名以上

# Q&A

／ 実際にお仕事をしている方に聞きました！ ／

## 看護職の方へのインタビュー

### Q 現在の社会福祉施設に就業するまでの経緯

A 病院→出産・退職(ブランク20年)→老人施設(パート)  
→就業(再雇用)

### Q 業務内容について

A ・健康管理、異常の早期発見早期対応  
・医療処置(皮膚科処置、褥瘡処置、カテーテル管理)  
・看取り対応、感染症関係対応など

### Q ライフスタイルに合わせた働き方

A <再雇用、常勤> 8:30～17:30、夜勤なし  
夜間は介護職員からのオンコール対応(7～8回/月)

### Q 多職種の方との連携方法

A 申し送りや定期的なカンファレンスで介護支援専門員、嘱託医、看護師、介護職、管理栄養士がそれぞれの視点で観察し、課題や問題点があれば適宜連絡を取り合っています。



介護老人福祉施設  
(60歳代)

### 就業を考える方へのメッセージ

- ブランクも長く、知識・経験・自身の手術で体力もなく自信もなかった自分でしたが、周囲の方々に支えられ、皆様から必要とされる尊い仕事をさせて頂きやりがいもあります。
- ブランクのある方、子育て中や介護をされている方などフルタイム勤務困難な方でも、働く意思がある方であれば、何らかの形での勤務はあり得ます。復職・転職をお考えの方は、一度飛び込んでみてはいかがでしょうか。素敵なあなたの笑顔、人間性が需要とされる職場です。



介護老人福祉施設  
(60歳代)

### 就業を考える方へのメッセージ

- 特養は夜勤がなく、オンコール体制を取っています。
- 病院と違い嘱託医のため、ある程度自分の判断で行動することが多くなります。
- 介護職の指導・教育も担っていますが、実務経験の長い方は豊富な知識と経験を活かし、活躍できる場だと思っています。

### Q 現在の社会福祉施設に就業するまでの経緯

A 病院→出産で退職(ブランク16年)→介護老人保健施設  
→特別養護老人ホーム

### Q 業務内容について

A ・健康状態の観察  
・内服管理  
・入浴介助(皮膚状態観察、全身チェック、軟膏処置) 食事介助  
・喀痰吸引・経管栄養の実施、採血・点滴・注射  
・クリニックとの連携、受診の付き添い、家族との連携、看取りケアの実施  
・介護職への医療面における研修会や教育・指導の実施

### Q ライフスタイルに合わせた働き方

A <常勤> 8:30～17:30  
オンコール対応(6～8回/月)

### Q 多職種の方との連携方法

A 新規入所者の事前調査、サービス担当者会議、モニタリング、チーム会議、各委員会などを通して相談員、ケアマネージャー、機能訓練士、介護士、管理栄養士などと連携しています。担当看護師が情報交換し、他職種へ情報提供を行なっています。

Q

## 現在の社会福祉施設に就業するまでの経緯

A

病院→部署異動(老健施設)→老健施設(希望で移動、再雇用)

Q

## 業務内容について

A

- ・バイタルサインチェック、医師への報告、医療処置(褥瘡処置、全身状態観察、軟膏処置の実施等)
- ・ケアマネジャー業務兼務(3~4日/月)
- ・介護業務のサポート

Q

## ライフスタイルに合わせた働き方

A

〈再雇用、常勤〉8:30~17:15  
 〈2交代〉8:30~17:15、16:00~9:30  
 夜勤は月3回程度ありますが、介護休暇や休みの配慮があるため高齢の親がいても安心して働いています。

Q

## 多職種の方との連携方法

A

老健は、生活とリハビリの場で多職種との連携が必須です。チームで介護をしているため、必要な情報は常にやり取りするようにしています。特にケアマネとして在宅復帰に向けてマネジメントするには必要なので、その都度連絡を取り合うようにしています。居宅とは違い、療養棟に多職種が出向いてくるので声がかかりやすいです。



介護老人保健施設  
(60歳代)

## 就業を考える方へのメッセージ

- 病院では点滴や検査、入退院の受け入れなど多忙で時間に追われ、心身ともにストレスが多いが、施設では入所者の方のペースに合わせ、ゆったりとした時間の中で自分のペースで仕事が進められています。
- 利用者の健康管理では、これまでの経験を活かし、病態や心身の状態をアセスメントし、医師への報告や介護の指導など看護師として能力を発揮できるやりがいのある職場と感じています。



介護老人保健施設  
(60歳代)

## 就業を考える方へのメッセージ

- 利用者の方と深く関わりが持て、寄り添える看護の提供ができます。
- 利用者の方とゆっくり関わり合いたい方、病院では忙しくてゆとりが持てない人、夜勤ができない人などは是非就業を考えてください。
- 看護職の人数は少なく、医療の提供は限られますが、多職種との関わりが多く、幅広い情報を得ています。
- ブランクがあっても働きやすく、介護のスキルも身につきます。

Q

## 現在の社会福祉施設に就業するまでの経緯

A

病院→退職(ブランク10年)→就業(現在再雇用)  
 (ブランクがあるため病院以外の就業を希望しました。)

Q

## 業務内容について

A

- ・健康状態観察
- ・インシュリン注射、口腔ケア、喀痰吸引、医療管理、点滴、採血、褥瘡管理、ストーマ管理等
- ・体調不良時の緊急対応
- ・応急処置
- ・介護スタッフのサポート

Q

## ライフスタイルに合わせた働き方

A

〈再雇用、常勤〉8:30~17:30、遅出勤務 9:30~18:30  
 日曜・祭日勤務あり、夜勤なし。再雇用時に就業時間を相談しました。

Q

## 多職種の方との連携方法

A

利用者の入所や退所時カンファレンスなど、他職種の職員や利用者及び家族の方との情報の共有を行っています。デイケア、通院していた医療機関、訪問看護師、ケアマネジャーからの情報提供を受けています。

**Q** 現在の社会福祉施設に就業するまでの経緯

**A** 病院→看護教員→訪問看護ステーション管理者→  
看多機管理者(必要性を感じたため)

**Q** 業務内容について

**A** ・バイタルサインチェック・医療的ケア・内服管理・リハビリ  
テーション  
・送迎介助(ナース同行必要時)  
・緊急訪問対応(急変・看取りケア)  
・訪問看護

**Q** ライフスタイルに合わせた働き方

**A** 〈常勤(2交代制)〉8:15~17:15、17:00~9:00  
(夜間は9床の対応)夜勤月4回  
日勤帯は看護職2人以上で対応。勤務希望は可能。

**Q** 多職種の方との連携方法

**A** 施設内にケアマネージャー・介護職が配置されています。  
在宅医とも連携しており、福祉用具は専門業者と相談して  
います。ほとんど施設内での関わりであるため連携しやすい  
です。



看護小規模多機能  
(50歳代)

就業を考える方への  
メッセージ

- 利用者及び介護者が在宅において笑顔で過ごせるよう支援することが看多機だと思います。
- 在宅という位置づけのため、ご自宅での生活を中心に看護展開していくということで様々な視点での関り及び工夫が必要です。
- 今までの看護経験を大いに発揮しながら在宅という違った視点での気づきや学びがあることから、それに魅了されるとこの場から離れられなくなると思います。病院とは違う在宅での笑顔は最高です。



通所介護施設  
(60歳代)

就業を考える方への  
メッセージ

- 自分の家庭状況や健康状態に合わせた勤務ができています。
- 今までは病院の情報しかなかったため、就業後は地域に関する視野が広がりました。多職種の方からいろいろな情報を得ることができ、人間関係も良く仕事内容に興味を持っています。

**Q** 現在の社会福祉施設に就業するまでの経緯

**A** 病院→定年→ナースセンター紹介→就業  
(病院以外の就業を考えていました)

**Q** 業務内容について

**A** ・健康状態の観察、睡眠状況、食欲確認  
・外傷の確認  
・健康指導を看護職・リハビリ職共同で年3回開催  
・利用者の方に生活指導の実施

**Q** ライフスタイルに合わせた働き方

**A** 〈非常勤〉週4日勤務 8:30~17:00  
祭日勤務がありますが、休みなど希望はしっかりとれます。  
家庭の状況に合わせて時間を調整し勤務できています。

**Q** 多職種の方との連携方法

**A** 同じフロアにすることが多いので、常時話し合いや報告などを行って



# ナース ストリート



日本看護協会中央ナースセンターが、看護職のキャリアと働き方応援サイト「ナースストリート」を公開しています。今や働くナースの11人に1人は60歳以上。看護のキャリアと生活経験を生かした活躍の場が広がっています。ライフサイクルやライフスタイルに合わせた働き方やエピソード、知っておきたい制度の紹介をしています。



無料職業紹介サイト

## eナースセンター

eナースセンターはナースセンターが運営する看護職のための求人・求職サイトです。ご登録いただくと、お仕事探しや人材探しが可能になるほか、看護に関する情報が無料で得られます。パソコンやスマートフォンから登録できます。ぜひご利用ください。



求職者(看護職)の方のご登録(無料)はこちらから▶

## 福井県ナースセンターについて

福井県ナースセンターは、福井県看護協会が県知事の指定を受けて運営している看護職の無料職業紹介所です。

- \*お仕事探しのお手伝いをさせていただきます
- \*相談は雇用保険受給者の方の求職相談になります

〈福井県ナースセンター〉 福井県看護協会会館内1階 ナースセンター内(〒918-8206 福井市北四ツ居町601) 月曜～金曜日(土、日、祭日は休館) 9:00～17:00 TEL.0776-52-1857 FAX.0776-52-1858

〈嶺南サテライト会場〉 二州健康福祉センター 2階(〒914-0057 敦賀市開町6-5) 毎週火曜日 10:00～14:00 TEL.080-1957-0579

